

成田線開業120周年記念列車到着式 4月30日



懐かしの列車が再び

JR成田線の我孫子～成田駅間が開業120周年を迎えたことを記念して、JR成田駅で式典が開催されました。この日に運行された記念列車は、先頭と最後尾の車両に記念のヘッドマークを掲げ、1990年代後半まで同区間を走行していた列車をイメージし、青色の帯に変更したもの。列車がホームに到着すると、多くの人が手を振りながら出迎えました。また、表参道口の駅前広場では、成田高校ダンスドリル部の演技や消防音楽隊による演奏が披露され、記念すべき年を盛大に祝いました。



①記念列車をカメラにおさめる②120周年への感謝を含めて③笑顔とダンスで会場を盛り上げる④息の合った演奏を披露

日暮えむ展～ひぐらし日記より 4月17日～5月23日



成田での日々を温かく描く

昭和から現在までの成田での生活を描く漫画家・日暮えむさんによる展示「日暮えむ展～ひぐらし日記より」がスカイタウンギャラリーで開催されています。ひぐらし日記は、日暮えむさんが小学3年生から書き続けている日記を基に、豊住地区での暮らしを描いた漫画。会場には細部まで描かれた表紙や漫画原稿のほか、作品の資料などが展示されています。来場者の一人は「懐かしみながら読める漫画で、とても楽しめた」と話していました。



作品解説をする日暮えむさん(左)と背景担当のDountaさん(右)

市史講座 4月24日



成田祇園祭の歴史をひもといて

市の歴史をより深く知ってもらおうと「市史講座」が市立図書館で行われました。成田祇園祭の歴史「暦と祭り」と題して開催された今回の講座。参加者は、江戸時代以降の古文書などの資料をひもときながら、現在の成田祇園祭が行われるようになった経緯などについて学びました。参加者の一人は「日本史の授業で学ぶような事柄とのつながりがあると分かり、歴史の長さを改めて実感した」と話していました。



スクリーンで資料を解説



親子たけのご掘りと竹細工教室 4月17日



竹林で春の旬を収穫

親子でタケノコの収穫と竹細工作りを楽しんでもらおうと「親子たけのご掘りと竹細工教室」が八生公民館で行われました。参加者は地元のボランティアと公民館裏の竹林へ行き、探し方や掘り方のコツを教わりながらタケノコ掘りに挑戦。タケノコが折れないように親子で気を付けて掘り出すと、満足げな笑顔を浮かべていました。タケノコ掘りの後は、しの鉄砲や弓矢などの竹細工作りを楽しみ、自然に囲まれながら貴重な体験をしていました。



①しっかり根本を狙って②しの鉄砲の作り方を教わる③作った弓矢的を狙って④たくさん収穫できました

初心者ソフトテニス教室 4月24日



みんなで楽しみながら上達

ボールと触れ合い、テニスの楽しさを知ってもらおうと「初心者ソフトテニス教室」が中台運動公園テニスコートで行われ、小学4～6年生の18人が参加しました。全24回のうち2回目この日は、グループに分かれてラケットの持ち方やボールを打つタイミングなどを講師から教わった後、実際に打つ練習へ。子どもたちはネットから少しずつ離れながらボールを打ち続け、最後には遠くに飛ばせるようになるまで上達していました。



ボールをよく見て

ふれあいコンサート 4月28日

曲調や音色の違いを楽しんで

市役所を会場にさまざまな音楽に親んでもらおうと「ふれあいコンサート」が市役所6階大会議室で開かれました。今回の出演者はチェロとピアノのアンサンブルユニットDuo Mon Chatの二人。「愛の挨拶」「G線上のアリア」といったクラシックの名曲のほか、楽器をピアノからアコーディオンに替えてタンゴの曲を披露するなど、幅広いジャンルの演奏が行われました。来場者は曲によって変わる演奏方法や音色の違いを楽しんでいました。



リズムの良い曲が演奏される